

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年10月6日 金曜日

積み上げチャートのシリーズおよびラベル列にNULLが含まれる際の対応

以前の記事「[カレンダーとレポートを連携させる](#)」で作成したアプリケーションに、タスクの担当者（列ASSIGNED_TO）のステータス（列STATUS）の積み上げチャートのページを追加します。

ページの作成をクリックします。



チャートを選択します。

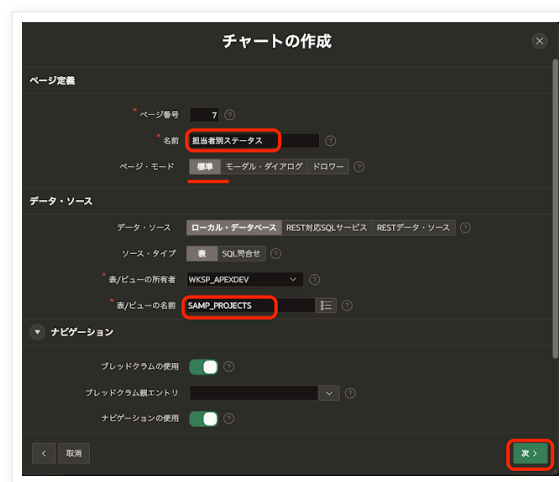


積み上げのバー・チャートは選択肢に含まれていないため、バーを選択します。



ページの名前は担当者ステータスとします。データ・ソースの表/ビューの名前にプロジェクトのデータが含まれる表SAMP_PROJECTSを指定します。

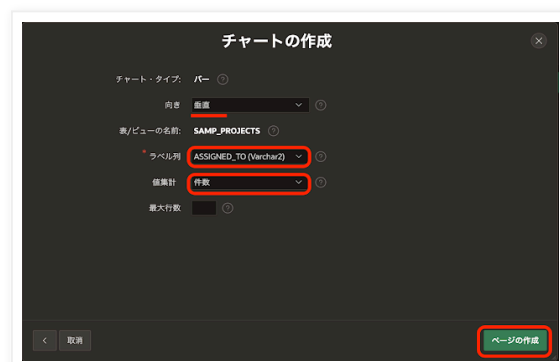
次へ進みます。



チャート・タイプの向きは垂直を選びます。

ラベル列（横軸）としてASSIGNED_TO (Varchar2)を選択します。値集計は件数とします。積み上げるためのシリーズには列STATUSを使用しますが、このウィザードでは指定できません。チャートのページを作成した後に設定します。

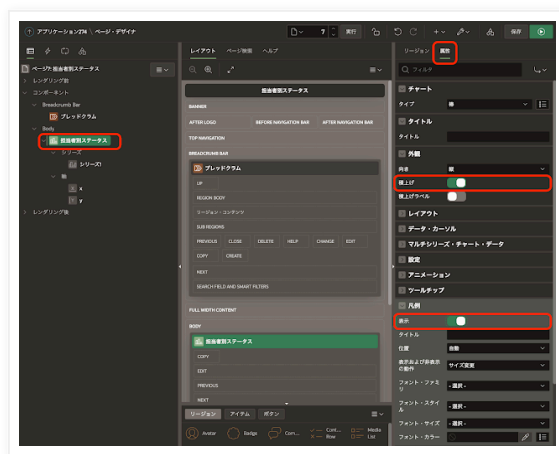
ページの作成をクリックします。



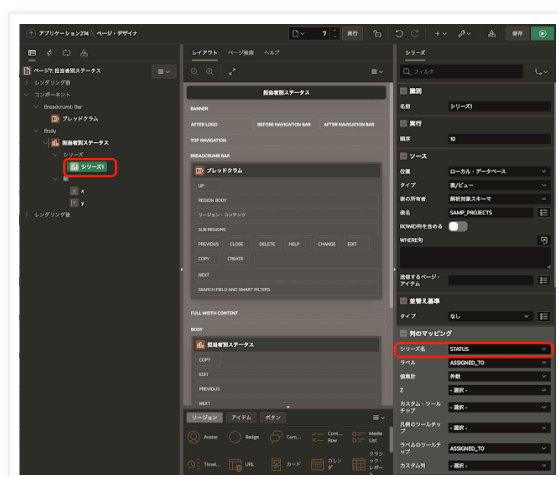
ページが作成されます。

積み上げチャートにするためリージョン担当者別ステータスを選択し、プロパティ・エディタの属性を開きます。

外観の積上げをオン、凡例の表示をオンにします。

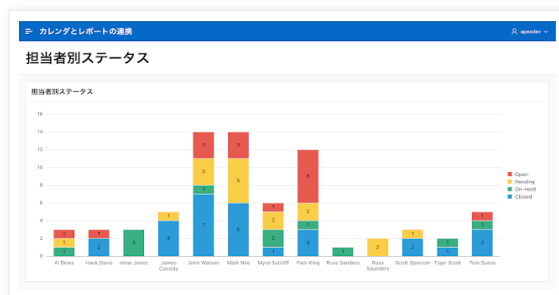


シリーズ（今回の例ではシリーズ1）を選択し、列のマッピングのシリーズ名としてSTATUSを設定します。



作成したチャートを表示します。

チャートの表示に利用している列にNULLは含まれていないので、想定どおりのチャートが表示されます。



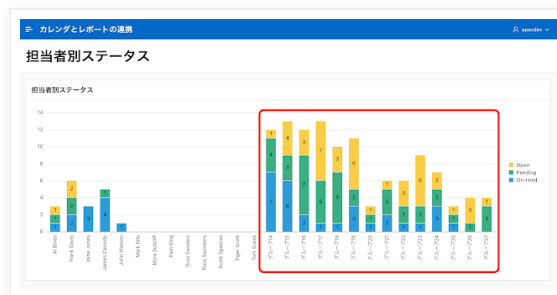
ここで列STATUSのClosedのステータスをNULLに更新します。SQLコマンドより、以下のSQLを実行します。

```
update samp_projects set status = null where status = 'Closed';
```

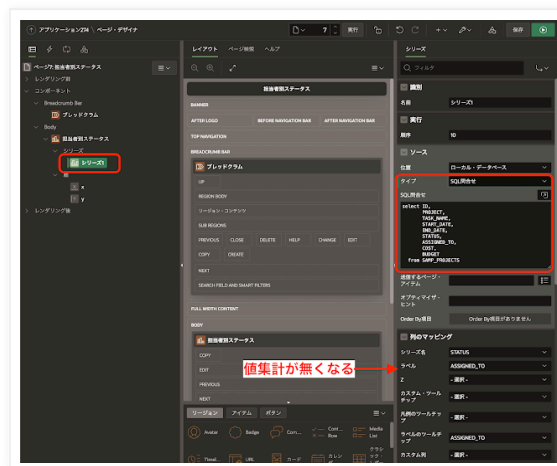


チャートの表示に戻ります。

ラベルにグループXXといった不明な表示が増えています。



シリーズのソースをSQL問合せに変更し、値にNULLが含まれる対応をしようとすると、列のマッピングより値集計が無くなります。そのため、ソースのSELECT文で値の集計を行なう（GROUP BYを使ったSELECT文を記述する）必要が出てきます。

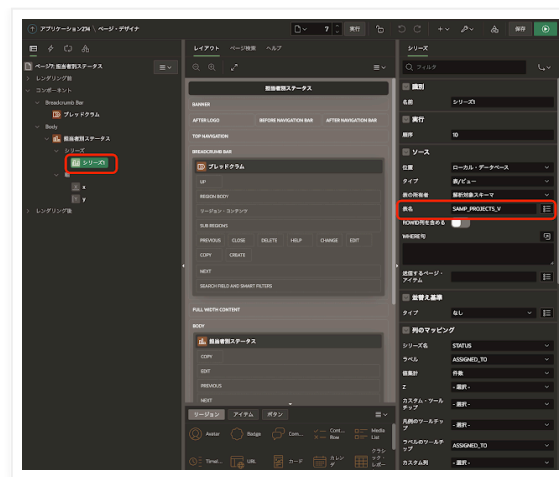


これは大変なので、代わりに以下のようなビューSAMP_PROJECTS_Vを作成します。

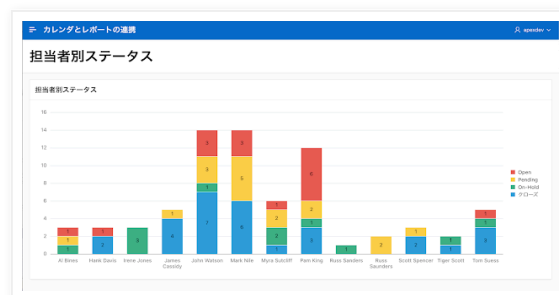
列ASSIGNED_TOおよびSTATUSがNULLの場合、NULLの代わりにCOALESCEファンクションを使って別の値に置き換えています。

```
create view samp_projects_v
as
select
  coalesce(assigned_to, '未アサイン') assigned_to,
  coalesce(status, 'クローズ') status
from samp_projects
```

リージョン担当者別ステータスのソースの表名をSAMP_PROJECTSからSAMP_PROJECTS_Vに置き換えます。



列STATUSにNULLが含まれていないため、チャートが想定通りに表示されるようになります。



列にNULLが含まれるためにチャートやレポートがうまく表示されない、といった場合、今回のようにビューを作成して対応することができます。

以上になります。

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 10:01

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.